



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月9日

上場会社名 株式会社RYODEN 上場取引所 東  
 コード番号 8084 URL https://www.ryoden.co.jp/  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 富澤 克行  
 問合せ先責任者(役職名) 総務部長 (氏名) 岡村 幸三郎 (TEL) 03-5396-6111  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	215,790	△16.7	5,483	△34.1	6,010	△27.0	4,700	△18.1
2024年3月期	259,008	△0.5	8,326	△11.2	8,236	△9.3	5,736	6.9

(注) 包括利益 2025年3月期 5,487百万円(△39.3%) 2024年3月期 9,040百万円(39.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	214.80	214.04	5.3	4.0	2.5
2024年3月期	262.43	261.33	6.9	5.4	3.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 65百万円 2024年3月期 28百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	141,995	89,213	62.7	4,141.24
2024年3月期	156,027	87,083	55.7	3,976.49

(参考) 自己資本 2025年3月期 89,086百万円 2024年3月期 86,939百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	18,453	△15	△4,202	33,305
2024年3月期	9,942	△710	△2,283	18,422

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	46.00	—	60.00	106.00	2,317	40.4	2.8
2025年3月期	—	53.00	—	53.00	106.00	2,302	49.3	2.6
2026年3月期(予想)	—	68.00	—	68.00	136.00		61.0	

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,900	△6.1	1,800	△26.1	1,900	△30.4	1,100	△43.2	50.26
通期	221,900	2.8	5,500	0.3	5,600	△6.8	4,800	2.1	219.34

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	21,612,037株	2024年3月期	22,824,977株
2025年3月期	100,078株	2024年3月期	961,549株
2025年3月期	21,884,152株	2024年3月期	21,857,635株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	179,588	△21.1	4,172	△40.6	4,989	△29.6	4,092	△15.0
2024年3月期	227,628	△2.3	7,027	△15.4	7,090	△16.7	4,815	△3.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	187.01		186.35					
2024年3月期	220.30		219.38					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	121,370	73,936	60.8	3,431.56
2024年3月期	139,525	73,642	52.7	3,362.09

(参考) 自己資本 2025年3月期 73,819百万円 2024年3月期 73,506百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年5月19日(月)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、事前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	17
(1) 貸借対照表 .....	17
(2) 損益計算書 .....	19
(3) 株主資本等変動計算書 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化などによる地政学的リスク、各国金融政策を背景とした高インフレが継続するなど、不確実性の高い状況が続きました。米国では高水準の政策金利が維持されるなか、堅調な雇用・所得環境を背景に個人消費は増加し、景気は堅調に推移する一方、欧州では製造業の長期的な不振が足元の成長を鈍化させる要因となりました。また中国では、2024年末にかけ景気刺激策や輸出の増加により回復基調となりましたが、不動産投資や個人消費の低迷が経済成長の課題となり、日本では堅調な個人消費とインバウンド需要の増加を背景に緩やかな回復が続きました。

このような状況下、当社グループは、本年度を最終年度とする中期経営計画「ICHIGAN2024」の目標達成に向け、「成長事業のビジネスモデルの確立」「基幹中核事業の生産性向上」及び「事業推進基盤の強化」に取り組んでまいりました。

当社グループの取引に関する業界では、電子部品・半導体分野は、自動車向けパワー半導体やAI関連製品の需要が堅調に推移しましたが、産業機器用途では在庫調整局面も見られ、中国市場においても不安定な状況が続き低調に推移しました。FA分野では、中国市場でNC関連は好調に推移しましたが、当社の主要顧客である国内の工作機械・半導体製造装置メーカーの中国市場向けの需要が回復せず、低調に推移しました。冷熱ビル分野では、資材の高騰や技術者不足などの影響はあったものの、活況なインバウンドに対応する店舗等への設備投資の増加や省エネ・環境対策設備などが堅調に推移しました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高2,157億90百万円(前期比16.7%減)、営業利益54億83百万円(前期比34.1%減)、経常利益60億10百万円(前期比27.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益47億円(前期比18.1%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

		前連結会計年度	当連結会計年度	増減率 (%)
FAシステム	売上高	52,039	48,190	△7.4
	営業利益	2,599	1,359	△47.7
冷熱ビルシステム	売上高	30,891	32,429	5.0
	営業利益	1,638	1,823	11.3
X-Tech (クロステック)	売上高	6,106	8,687	42.3
	営業損失(△)	△317	△13	—
エレクトロニクス	売上高	170,031	126,536	△25.6
	営業利益	4,914	3,269	△33.5

(注) 事業別の連結売上高は百万円未満を切り捨てし、合計値はすべてを集計ののち、百万円未満を切り捨てて表示しています。また事業間の内部取引の金額が含まれています。

## ①FAシステム

中国市場でNC関連の受注が好調に推移しましたが、当社の主要顧客である国内の工作機械・半導体製造装置メーカーの中国市場向けの需要が回復せず、顧客の在庫調整が継続し、低調に推移しました。

その結果、FAシステムの売上高は481億90百万円、営業利益は13億59百万円となりました。

②冷熱ビルシステム

冷熱分野では、インバウンド需要の拡大に伴い、店舗用エアコン、ルームエアコン、熱源機器等の暑熱対策機器の販売が堅調に推移しました。

ビルシステム分野では、資材価格の高騰や施工物件の延期・工期遅延の影響を受けたことで、エレベーターや搬送機器の販売が低調となりました。

その結果、冷熱ビルシステムの売上高は324億29百万円、営業利益は18億23百万円となりました。

③X-Tech (クロステック)

ヘルスケア分野では、大型案件を受注したものの、医療業界全体の設備投資減速の影響を受けたことで、全体としては低調な推移となりました。

スマートアグリ分野では、高付加価値製品戦略の推進により収益を確保することができ、期中後半より単月での黒字化を継続しました。植物工場の市場としては、電気代高騰等の影響を受け引き続き低調ですが、植物工場ビジネスで培ったナレッジを、光合成生物を用いた新たなビジネスに展開することで当社独自のサービスの確立に取り組みます。

ICT分野では、IT機器関連及び、ビデオマネジメントシステムなどの高付加価値製品が堅調に推移しました。

以上の結果、X-Techの売上高は86億87百万円、営業損失は13百万円となりました。

④エレクトロニクス

国内市場では、車載市場は当初見込みよりも比較的堅調に推移し、またデータセンター向けの需要が堅調であったものの、主要取扱製品の販売終了、産業機器市場の受注低迷と顧客の在庫調整局面が続いたことで低調な推移となりました。

海外市場では、民生関連市場はOA機器向け販売が堅調であったものの、産業機器関連市場や車載関連市場がいずれも低調に推移しました。

その結果、エレクトロニクスの売上高は1,265億36百万円、営業利益は32億69百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産の部は、現金及び預金が140億26百万円増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が124億26百万円、電子記録債権が106億38百万円、商品及び製品が79億4百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比140億32百万円減少し、1,419億95百万円となりました。

負債の部は、電子記録債務が144億46百万円、支払手形及び買掛金が18億77百万円、未払法人税等が9億60百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比161億62百万円減少し、527億82百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する当期純利益を47億円計上し、為替換算調整勘定が14億39百万円増加した一方、配当金24億74百万円の支払による利益剰余金の減少等により、純資産合計は前連結会計年度末比21億30百万円増加し、892億13百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末比7.0ポイント増加し、62.7%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当社グループは、経営成績の向上と財政状態の安定を図り、資金需要に応じた一定の手許流動性を維持しながら、健全かつ効率的な財務活動を行っております。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比148億82百万円増加し、333億5百万円の残高となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により得られた資金は、184億53百万円（前年同期比85億11百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益64億73百万円の計上と、売上債権・棚卸資産、並びに仕入債務の減少によるネット資金の増加147億96百万円、未収入金の増加による資金の減少3億10百万円、法人税等の支払23億40百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動に使用した資金は、15百万円（前年同期比6億95百万円収入増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億31百万円、無形固定資産の取得による支出9億31百万円、投資有価証券の売却による収入7億95百万円、3ヶ月超定期預金の払戻による収入9億54百万円、敷金及び保証金の差入による支出4億82百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動に使用した資金は、42億2百万円（前年同期比19億19百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払24億69百万円、自己株式の取得による支出10億21百万円、短期借入金の返済4億27百万円、長期借入金の返済2億84百万円によるものです。

キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率	55.6%	52.9%	52.8%	55.7%	62.7%
時価ベースの自己資本比率	28.6%	26.3%	27.0%	38.0%	38.1%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	74.1%	—	—	40.8%	18.6%
インタレスト・カバレッジ・レシオ	80.2倍	—	—	114.7倍	193.5倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

\*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

\*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

\*キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

\*2022年3月期及び2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは当該期のキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

米国経済は、堅調に推移すると見られていたものの、追加関税措置により利下げやインフレ対策など様々な対応による影響が考えられます。欧州経済は、所得の増加や金利低下による個人消費の増加で堅調に推移すると予想され、中国経済は、不動産不況から端を発した成長率の鈍化による政策の強化などで解消が期待されますが、欧州、中国ともに米国の追加関税措置によりかつてない程の先行き不透明感が高まりつつあります。加えてウクライナ情勢の不安定化や地政学的リスクも依然解決の糸口が見いだせない状況にあります。

日本経済は、賃金の増加による個人消費の持ち直し、企業の設備投資意欲の拡大、インバウンド需要の増加、政府の経済対策による雇用情勢や家計の改善など好条件はあるものの、追加関税措置に起因する製造業の輸出への影響や円高の進行など下振れリスクも懸念されます。

当社グループの取引に関する業界については、半導体関連は、需給バランスは安定し、電気自動車用途や生成AI用途など先端分野への投資は堅調に推移すると見込まれます。また国内設備投資については、脱炭素・省電力投資、製造業省人化対策、暑熱対策等が堅調に推移し、FA関連の需要は回復し、冷熱ビルシステムの需要は堅調に推移すると見込まれます。

このような状況下、当社グループは、新たな中長期経営計画「ONE RYODEN Growth 2029|2034」をスタートさせました。当計画は、当社が100年企業となる2047年からのバックキャストの視点に加え、これまでの振り返りと反省を踏まえたフォアキャストの視点からも思考し、前中期経営計画である「ICHIGAN2024」を第1次と捉え、「ONE RYODEN Growth 2029|2034」を第2次としてつながりのあるものとしています。

「ONE RYODEN Growth 2029|2034」では、新たなビジョンとして「未来を共創するエクセレントカンパニー」を掲げ、全てのステークホルダーと共に価値を創出し、世界に誇れる企業へと進化し続けることを目指します。また新たなビジョンに伴い、見直しを行ったサステナビリティ基本方針に基づき、企業活動を通じて全てのステークホルダーと共に新たな価値を創出し続けることで「社会的価値」と「経済的価値」を両立させ、持続的な企業価値向上を実現すべく計画を着実に実行してまいります。

「ONE RYODEN Growth 2029|2034」の初年度にあたる次期の業績見通しにつきましては、連結売上高2,219億円、営業利益55億円、経常利益56億円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、海外売上高比率の動向及び我が国における国際会計基準の適用状況等を踏まえ、同基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,284	33,311
受取手形、売掛金及び契約資産	57,267	44,840
電子記録債権	24,444	13,806
有価証券	37	-
商品及び製品	35,201	27,296
その他	3,967	6,563
貸倒引当金	△30	△16
流動資産合計	140,172	125,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,211	4,204
減価償却累計額	△2,269	△2,456
建物及び構築物（純額）	1,941	1,748
機械装置及び運搬具	1,403	1,434
減価償却累計額	△749	△880
機械装置及び運搬具（純額）	653	554
工具、器具及び備品	1,319	1,425
減価償却累計額	△1,061	△1,131
工具、器具及び備品（純額）	258	294
土地	2,595	2,595
建設仮勘定	16	4
有形固定資産合計	5,465	5,197
無形固定資産		
ソフトウェア	889	1,770
その他	148	209
無形固定資産合計	1,038	1,979
投資その他の資産		
投資有価証券	7,583	6,850
長期前払費用	171	33
繰延税金資産	105	136
その他	1,740	2,261
貸倒引当金	△255	△268
投資その他の資産合計	9,345	9,013
固定資産合計	15,849	16,190
繰延資産	5	3
資産合計	156,027	141,995



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,600	25,722
電子記録債務	28,358	13,911
短期借入金	1,443	1,148
未払法人税等	1,236	276
その他	6,431	8,236
流動負債合計	65,070	49,296
固定負債		
長期借入金	1,773	1,468
退職給付に係る負債	378	279
その他	1,721	1,737
固定負債合計	3,873	3,486
負債合計	68,944	52,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,523	7,355
利益剰余金	63,226	64,160
自己株式	△726	△128
株主資本合計	80,358	81,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,724	2,282
為替換算調整勘定	2,814	4,253
退職給付に係る調整累計額	1,042	828
その他の包括利益累計額合計	6,580	7,364
新株予約権	135	116
非支配株主持分	8	10
純資産合計	87,083	89,213
負債純資産合計	156,027	141,995

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	259,008	215,790
売上原価	229,780	188,246
売上総利益	29,228	27,543
販売費及び一般管理費	20,902	22,060
営業利益	8,326	5,483
営業外収益		
受取利息	165	267
受取配当金	161	207
持分法による投資利益	28	65
固定資産賃貸料	77	69
その他	95	272
営業外収益合計	528	881
営業外費用		
支払利息	89	90
固定資産除売却損	4	2
売上債権売却損	22	4
為替差損	439	176
投資有価証券売却損	18	-
その他	42	80
営業外費用合計	618	353
経常利益	8,236	6,010
特別利益		
投資有価証券売却益	8	501
投資有価証券清算益	2	-
補助金収入	70	-
段階取得に係る差益	132	-
特別利益合計	214	501
特別損失		
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	43	37
関係会社整理損	-	1
特別損失合計	43	38
税金等調整前当期純利益	8,407	6,473
法人税、住民税及び事業税	2,631	1,554
法人税等調整額	38	216
法人税等合計	2,670	1,770
当期純利益	5,737	4,703
非支配株主に帰属する当期純利益	1	2
親会社株主に帰属する当期純利益	5,736	4,700

## 連結包括利益計算書

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	5,737	4,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	784	△441
為替換算調整勘定	790	1,439
退職給付に係る調整額	1,727	△214
その他の包括利益合計	3,302	784
包括利益	9,040	5,487
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,038	5,484
非支配株主に係る包括利益	1	2

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,334	7,504	59,391	△742	76,488
当期変動額					
剰余金の配当			△1,901		△1,901
親会社株主に帰属する当期純利益			5,736		5,736
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		18		18	36
自己株式の消却					-
利益剰余金から資本剰余金への振替					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	18	3,835	16	3,870
当期末残高	10,334	7,523	63,226	△726	80,358

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	1,940	2,023	△685	3,278	129	2	79,898
当期変動額							
剰余金の配当							△1,901
親会社株主に帰属する当期純利益							5,736
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							36
自己株式の消却							-
利益剰余金から資本剰余金への振替							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	784	790	1,727	3,302	6	5	3,314
当期変動額合計	784	790	1,727	3,302	6	5	7,184
当期末残高	2,724	2,814	1,042	6,580	135	8	87,083

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,334	7,523	63,226	△726	80,358
当期変動額					
剰余金の配当			△2,474		△2,474
親会社株主に帰属する当期純利益			4,700		4,700
自己株式の取得				△1,021	△1,021
自己株式の処分		100		57	157
自己株式の消却		△1,561		1,561	-
利益剰余金から資本剰余金への振替		1,292	△1,292		-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△168	933	597	1,362
当期末残高	10,334	7,355	64,160	△128	81,721

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	2,724	2,814	1,042	6,580	135	8	87,083
当期変動額							
剰余金の配当							△2,474
親会社株主に帰属する当期純利益							4,700
自己株式の取得							△1,021
自己株式の処分							157
自己株式の消却							-
利益剰余金から資本剰余金への振替							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△441	1,439	△214	784	△18	2	767
当期変動額合計	△441	1,439	△214	784	△18	2	2,130
当期末残高	2,282	4,253	828	7,364	116	10	89,213

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,407	6,473
減価償却費	648	777
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△124	△380
受取利息及び受取配当金	△327	△474
支払利息	89	90
持分法による投資損益 (△は益)	△28	△65
固定資産除売却損益 (△は益)	0	1
有価証券償還損益 (△は益)	-	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	10	△501
投資有価証券評価損益 (△は益)	47	37
関係会社整理損	-	1
関係会社株式評価損	0	-
補助金収入	△70	-
段階取得に係る差損益 (△は益)	△132	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△554	23,137
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,227	8,718
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,454	△17,059
未収入金の増減額 (△は増加)	2,915	△310
その他	1,454	△53
小計	13,110	20,373
利息及び配当金の受取額	362	515
利息の支払額	△86	△95
法人税等の支払額	△3,445	△2,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,942	18,453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	166	37
有形固定資産の取得による支出	△306	△231
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△224	△931
投資有価証券の取得による支出	△182	△43
投資有価証券の売却による収入	102	795
定期預金の純増減額 (△は増加)	△283	954
関係会社株式の取得による支出	-	△88
補助金の受取額	70	-
敷金及び保証金の差入による支出	-	△482
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	71	-
その他	△127	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△710	△15
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△273	△427
長期借入金の返済による支出	△110	△284
自己株式の取得による支出	△1	△1,021
自己株式の処分による収入	0	0
配当金の支払額	△1,897	△2,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,283	△4,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	383	647
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,331	14,882
現金及び現金同等物の期首残高	11,091	18,422
現金及び現金同等物の期末残高	18,422	33,305

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき取締役及び対象使用人に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式33,000株の処分及び、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式42,500株の処分を行いました。これにより、自己株式が57百万円減少し、資本剰余金は自己株式処分差益100百万円を計上しております。

また、2025年2月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年2月28日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により自己株式426,200株を1,019百万円で取得し、この取得した自己株式及び当社が保有する自己株式の一部と合わせて1,212,940株を2025年3月21日付で消却いたしました。これにより、自己株式が540百万円減少し、資本剰余金は15億61百万円減少しております。当該自己株式の消却により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が負の値となったため、当該負の値を利益剰余金から振替を行っております。

この結果、当連結会計年度末における資本剰余金が73億55百万円、利益剰余金が641億60百万円、自己株式が1億28百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業部を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「FAシステム事業」、「冷熱ビルシステム事業」、「X-Tech事業」、「エレクトロニクス事業」の4つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントに属する主要商品は以下のとおりです。

FAシステム事業…サーボシステム、インバータ、NC装置

冷熱ビルシステム事業…パッケージエアコン、チリングユニット、冷凍機、エレベーター

X-Tech事業…映像・画像情報システム、メディカルファシリティ、植物工場システム

エレクトロニクス事業…メモリ、マイコン、パワーデバイス、素材、素形材

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	52,039	30,891	6,106	169,971	259,008	—	259,008	—	259,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	60	60	—	60	△60	—
計	52,039	30,891	6,106	170,031	259,069	—	259,069	△60	259,008
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	2,599	1,638	△317	4,914	8,835	—	8,835	△508	8,326
セグメント資産	27,783	18,225	4,752	91,425	142,187	811	142,999	13,028	156,027
その他の項目									
減価償却費	131	81	228	196	637	—	637	9	647
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	164	112	106	250	634	—	634	—	634

(注) 1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△508百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△510百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発に係る一般管理費であります。

セグメント資産の調整額13,028百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは余資運用資金及び長期投資資金等であります。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額
	FA システム	冷熱ビル システム	X-T e c h	エレクト ロニクス	計				
売上高									
外部顧客への売上高	48,190	32,429	8,687	126,481	215,790	—	215,790	—	215,790
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	54	54	—	54	△54	—
計	48,190	32,429	8,687	126,536	215,845	—	215,845	△54	215,790
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	1,359	1,823	△13	3,269	6,440	—	6,440	△956	5,483
セグメント資産	24,182	17,325	4,465	70,149	116,122	838	116,960	25,035	141,995
その他の項目									
減価償却費	143	88	308	191	731	—	731	45	777
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	415	308	152	544	1,421	—	1,421	—	1,421

(注) 1 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△956百万円には、各報告セグメントに配賦されていない全社費用△953百万円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない新規事業開発に係る一般管理費であります。

セグメント資産の調整額25,035百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産で、その主なものは余資運用資金及び長期投資資金等であります。



## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(81.7%) 211,626	(10.3%) 26,623	(5.4%) 14,091	(1.9%) 4,913	(0.7%) 1,753	(18.3%) 47,382	(100.0%) 259,008

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
パナソニック株式会社	38,439	エレクトロニクス

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(77.8%) 167,936	(11.9%) 25,660	(7.0%) 15,007	(2.5%) 5,489	(0.8%) 1,697	(22.2%) 47,854	(100.0%) 215,790

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	3,976.49円	4,141.24円
1株当たり当期純利益	262.43円	214.80円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	261.33円	214.04円

(注) 1 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,736	4,700
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (百万円)	5,736	4,700
普通株式の期中平均株式数 (千株)	21,857	21,884
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (千株)	92	77
(うち新株予約権) (千株)	(92)	(77)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当連結会計年度末 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	87,083	89,213
純資産の部の合計額から控除する 金額 (百万円)	144	127
(うち新株予約権) (百万円)	(135)	(116)
(うち非支配株主持分) (百万円)	(8)	(10)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	86,939	89,086
1株当たり純資産額の算定に用い られた期末の普通株式の数 (千株)	21,863	21,511

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,303	22,979
受取手形	2,427	1,215
電子記録債権	23,939	13,610
売掛金	51,996	40,038
契約資産	103	103
有価証券	37	-
商品及び製品	27,219	19,845
前渡金	247	1,519
前払費用	47	83
短期貸付金	563	326
未収入金	3,045	3,320
その他	296	530
貸倒引当金	△32	△17
流動資産合計	122,195	103,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	638	552
機械及び装置	222	185
車両運搬具	0	0
工具、器具及び備品	192	231
土地	2,524	2,524
リース資産	9	9
建設仮勘定	16	4
有形固定資産合計	3,604	3,506
無形固定資産		
ソフトウェア	881	1,761
その他	3	107
無形固定資産合計	884	1,868
投資その他の資産		
投資有価証券	6,109	5,254
関係会社株式	2,434	2,434
その他の関係会社有価証券	5	5
関係会社長期貸付金	788	693
長期前払費用	171	33
繰延税金資産	286	276
その他	3,139	3,837
貸倒引当金	△95	△95
投資その他の資産合計	12,841	12,440
固定資産合計	17,330	17,815
資産合計	139,525	121,370

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	363	128
電子記録債務	28,358	13,911
買掛金	25,220	21,864
短期借入金	650	650
リース債務	5	5
未払金	1,495	1,587
未払費用	1,384	1,338
未払法人税等	1,117	156
前受金	252	1,818
預り金	417	548
役員賞与引当金	52	28
その他	2,306	1,211
流動負債合計	61,624	43,250
固定負債		
リース債務	6	5
退職給付引当金	3,464	3,392
長期預り保証金	760	744
資産除去債務	27	28
その他	-	12
固定負債合計	4,259	4,183
負債合計	65,883	47,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金		
資本準備金	7,355	7,355
その他資本剰余金	168	-
資本剰余金合計	7,523	7,355
利益剰余金		
利益準備金	788	788
その他利益剰余金		
土地圧縮積立金	238	235
別途積立金	11,100	11,100
繰越利益剰余金	41,522	41,851
利益剰余金合計	53,650	53,976
自己株式	△726	△128
株主資本合計	70,782	71,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,724	2,282
評価・換算差額等合計	2,724	2,282
新株予約権	135	116
純資産合計	73,642	73,936
負債純資産合計	139,525	121,370

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	227,628	179,588
売上原価	202,462	156,668
売上総利益	25,165	22,920
販売費及び一般管理費	18,138	18,747
営業利益	7,027	4,172
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	474	808
その他	165	295
営業外収益合計	639	1,104
営業外費用		
支払利息	18	23
為替差損	485	192
その他	71	71
営業外費用合計	576	287
経常利益	7,090	4,989
特別利益		
投資有価証券売却益	-	501
特別利益合計	-	501
特別損失		
投資有価証券評価損	43	37
特別損失合計	43	37
税引前当期純利益	7,047	5,453
法人税、住民税及び事業税	2,305	1,234
法人税等調整額	△72	126
法人税等合計	2,232	1,360
当期純利益	4,815	4,092

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					土地圧縮積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	10,334	7,355	149	7,504	788	238	11,100	38,608	50,736
当期変動額									
剰余金の配当								△1,901	△1,901
土地圧縮積立金の取崩									
当期純利益								4,815	4,815
自己株式の取得									
自己株式の処分			18	18					
自己株式の消却									
利益剰余金から資本剰 余金への振替									
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	18	18	-	-	-	2,914	2,914
当期末残高	10,334	7,355	168	7,523	788	238	11,100	41,522	53,650

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△742	67,832	1,940	1,940	129	69,902
当期変動額						
剰余金の配当		△1,901				△1,901
土地圧縮積立金の取崩		-				-
当期純利益		4,815				4,815
自己株式の取得	△1	△1				△1
自己株式の処分	18	36				36
自己株式の消却		-				-
利益剰余金から資本剰 余金への振替		-				-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)			784	784	6	790
当期変動額合計	16	2,949	784	784	6	3,739
当期末残高	△726	70,782	2,724	2,724	135	73,642

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		土地圧縮積 立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	10,334	7,355	168	7,523	788	238	11,100	41,522	53,650
当期変動額									
剰余金の配当								△2,474	△2,474
土地圧縮積立金の取崩						△3		3	
当期純利益								4,092	4,092
自己株式の取得									
自己株式の処分			100	100					
自己株式の消却			△1,561	△1,561					
利益剰余金から資本剰 余金への振替			1,292	1,292				△1,292	△1,292
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	△168	△168	-	△3	-	328	325
当期末残高	10,334	7,355	-	7,355	788	235	11,100	41,851	53,976

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△726	70,782	2,724	2,724	135	73,642
当期変動額						
剰余金の配当		△2,474				△2,474
土地圧縮積立金の取崩		-				-
当期純利益		4,092				4,092
自己株式の取得	△1,021	△1,021				△1,021
自己株式の処分	57	157				157
自己株式の消却	1,561	-				-
利益剰余金から資本剰 余金への振替		-				-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)			△441	△441	△18	△460
当期変動額合計	597	754	△441	△441	△18	293
当期末残高	△128	71,536	2,282	2,282	116	73,936